

令和8年(2026年)9月14日

保護者の皆様

札幌市立福井野小学校
校長 佐々木 雅巳

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果及び改善の方向について

日頃より本校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

4月に実施いたしました『全国学力・学習状況調査』について、福井野小学校としての結果概要及び改善の方向についてお知らせします。一人一人の調査結果については、実施学年の6年生に個人票を既に配付しております。「課題」は6年生のみの課題としてではなく、学校全体の課題としてとらえており、今後の学習指導の改善に役立てていきたいと考えております。

*調査結果及び課題と改善の方向については、同じものを本校 HP に掲載いたします。

【児童質問調査】

学習や生活状況についての調査結果と分析

全国学力・学習状況調査では、学習意欲や学習環境、生活に関する質問を児童に実施しました。この質問の中から、全国と比較して差異の大きい質問、本校の児童の傾向が顕著に見られる質問について分析しています。

【全国平均に比べ「肯定的な回答が多かった」設問】

* () は全国の数値

- ☆自分には、よいところがある。**88.1%** (85.6%)
- ☆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。**100.0%** (96.2%)
- ☆学校に行くのは楽しい。**88.1%** (85.7%)
- ☆自分と違う意見について考えるのは楽しい。**83.3%** (77.9%)
- ☆普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。**97.6%** (92.5%)
- ☆地域や社会をよくするために何かしてみたい。**83.4%** (80.1%)
- ☆PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができると思う。**88.1%** (79.1%)
- ☆PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーションを作成することができると思う。**85.7%** (74.6%)
- ☆これまでの授業で、自分の考えを発表する機会では、考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した。**71.5%** (66.4%)
- ☆これまでの授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。**78.6%** (73.4%)
- ☆これまでの授業では、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。**88.1%** (80.8%)
- ☆算数の勉強が得意である。**71.4%** (60.1%)
- ☆算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。**67.2%** (63.6%)

【全国平均に比べ「肯定的な回答が少なかった」設問】

- ☆将来の夢や目標をもっている。**73.8%** (81.8%)
- ☆学校での悩みについて、親や家族と話す。→ほとんど、全く話さない。**52.4%** (31.7%)
- ☆先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。**81.0%** (87.3%)
- ☆学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している。**33.3%** (49.9%)
- ☆普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上ゲームをしている。**69.1%** (57.6%)
- ☆これまでの授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、ほぼ毎日使用した。**33.3%** (43.0%)
- ☆国語の勉強が得意である。**54.7%** (60.4%)
- ☆算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えた。**76.2%** (81.7%)

自分にはよいところがあると認識できていたり、学校に行くのが楽しいと感じたり、普段の生活の中で幸せな気持ちになったりすることが全国平均を上回っていることから、自己肯定感やウェルビーイングの高まりが感じられます。また、「いじめはどんなことがあってもいけないことだ」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の項目でも肯定的な回答が全国平均を上回っており、他者を思いやり、生命を尊重したりといった「豊かな心」が育まれてきていると考えられます。

一方、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」や「学校での悩みについて、親や家族と話す」に関しては肯定的な回答が少なく、課題を感じています。一人一人が大切にされると実感できるよう、子どもたちの思いや願いに寄り添いながら、これまで以上に「子どもの声を聴く」ことを意識していく必要があります。

また、例年、全国平均と比べ、平日の1日当たりのゲーム時間が長く、学習時間が少ない傾向が見られます。今回の学力調査での正答率は全国平均を下回っている項目が多いことから、学校での授業改善はもちろん、ご家庭とも連携を図りながら、学習時間の確保に努めていく必要性を感じます。

さらに、「将来の夢や目標をもっている」との肯定的な回答が全国平均を下回っていることから、本校の子どもたちが、自分の可能性を感じ、未来へ前向きに進んでいけるよう、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を目指してまいります。

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

福井野小学校の概要

【領域】

【思考力、判断力、表現力等】

話すこと・聞くこと

☐ 全国平均を下回っている。

書くこと

☐ 全国平均を下回っている。

読むこと

☐ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

【知識及び技能】

言葉の特徴や使い方に関する事項

☐ 全国平均を下回っている。

情報の扱い方に関する事項

☐ 全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- 理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。
- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるよう表現を工夫すること。
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
- 引用するなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

改善の方向

- 具体的な相手や目的を意識して、自分が伝えたいことの中心が明確になるように理由や事例などを挙げ、筋道を立てた構成を検討する学習活動の充実。
- 資料を活用する目的を明確にし、どのような資料を加えると自分の考えが分かりやすく伝えられるのかについて考え、自分の表現を工夫する活動の充実。
- 筋道を立てた構成を検討する学習活動の充実。
- 引用する目的を明確にし、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして、区別しながら書き表したりする学習活動の充実。
- 筆者の考えや文章の中で挙げられている事例、読み手自身の経験など、複数の情報を取捨選択・整理・再構成しながら考えをまとめる学習活動の充実。
- 漢字のもつ意味を考えながら漢字を使うことを意識した活動の充実。
- 目的や意図を明確にし、複数の叙述や語句の関係を図示などにより整理することを通して、考えをまとめる学習活動の充実。

【算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

福井野小学校の概要

【領域】

数と計算

☐ 全国平均と同程度であるが、やや上回っている。

図形

☐ 全国平均を下回っている。

測定

☐ 全国平均と同程度であるが、やや上回っている。

変化と関係

☐ 全国平均と同程度であるが、やや下回っている。

データの活用

☐ 全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- 整数と小数の減法の計算をすること。
例) $6.37 - 5 = 1.37$ 、 $5 - 3.76 = 1.24$ を計算する。
- 数を四捨五入して、概数で表すこと。
- 立方体の体積の計算による求め方について理解していること。
例) 一辺が8cmの立方体の体積を求める式を書く。
- 百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。
例) イシガメ14匹が動物園全体のカメの数の20%に当たるときの、動物園全体のカメの数を求める式と答えを書く。
- 日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述すること。

改善の方向

- 小数の加法及び減法の計算について、0.01のいくつか分と捉えるなどして、整数と同じ原理・手順で計算できることを理解できるようにする学習活動の充実。
- 示された条件を基に、概数で表すことができるようにする学習活動の充実。
- 図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積が、縦・横・高さの長さを使って計算で求められることを理解できるようにする学習活動の充実。
- 問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるようにする学習活動の充実。その際、何が基準量で何が比較量に当たるのかを的確に把握し、計算に結び付けられるようにする活動を取り入れることが大切。
- 日常の具体的な場面に対応させながら問題を理解し、目的に応じて、必要な数値を読み取ったり、分類整理したりする活動の充実。その際、条件に当てはまるかを判断したり、必要なデータを整理したりする活動を取り入れることが大切。